

平成29年度 第1回岐阜市障害者総合支援協議会 議事要旨

平成29年5月22日(月)

16:00~17:40

岐阜市役所4-1会議室

1. 福祉事務所長あいさつ
2. 委嘱状交付
3. 委員紹介
4. 岐阜市障害者総合支援協議会について概要説明(事務局)
→資料1、資料2による説明
5. 会長選出等
→社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会 常務理事 佐橋 伸弘 氏を選出
職務代理者に公立大学法人 岐阜県立看護大学 准教授 山本 真実 氏を選出
6. 平成28年度障害者総合支援協議会・専門部会活動報告について(事務局)
→平成28年度開催実績を参照
7. 平成29年度障害者総合支援協議会・専門部会の開催について(事務局)
→資料3による説明
8. 質疑応答及び意見交換
＜意見＞
 - ・障がいのある方の状況に応じた相談窓口の周知にも取り組んでもらいたい。
 - ・障がいのある本人に対する関わりについてだけでなく、家族の思いを知り、関わり方を学ぶ場があってもよいのではないか。
 - ・相談体制については「こういう相談はここにつなぐ」というような型にはめることが多くなっている。専門職の役割として本人が気づかない支援のニーズに気づいて支援していくことが大事であり、学ぶ機会があるとよい。
 - ・親が亡くなった際の孤立の問題が起きており、障がい分野の相談機関に限らず様々な機関が参加し、連携が図れる場があるとよい。

- ・障がいの理解啓発パンフレット、DVDは障がいの特性の理解につながる。自分の所属する団体のホームページにリンクを貼って活用している。
- ・現場では顔が見える関係づくりをし、連携を図っていくことが重要である。
- ・障がいのある方が地域での生活を笑顔で暮らし続けられるよう、地域課題を把握し、必要な連携、支援ができるようにしたい。

<質問>

- ・平成28年度全体会や専門部会などの参加者に偏りはないか。
→新しいテーマを取り上げた専門部会では今まで参加していなかった事業所の参加あり、平成29年度も様々なテーマでの専門部会の開催を検討したい。